

[南大阪看護専門学校 2020年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
基礎分野	人間と生活・社会の理解	人間関係論	人間と人間の相互関係を心理学的視野より学ぶ	高橋 千津子		テキスト心理学	1	30
		教育学	教育学の基礎知識及び教育における社会の課題	上田 勝江		1	30	
専門基礎分野	健康の支援と 社会保障の制度	社会福祉Ⅱ	社会福祉の実際	岡本 周佳 [実] ※5	①社会福祉士 ②この授業では、社会福祉の考え方について、現代の社会状況や生活・暮らしの視点から理解を深めます 本授業の目標は、 1) 福祉的な視点を理解し、専門職として現場で応用できるようになること 2) 社会福祉領域との連携への素地をつくることです	系統看護学講座 社会保障・社会福祉	1	30
		社会保障論	社会保障制度	新田 正尚 [実] 酒井 哲雄	①介護支援専門員(新田のみ) ②この授業では、社会保障制度の目的、機能、範囲、歴史、組織、財政等について学習する。とくに、看護の分野では医療保険、介護保険、年金制度についての理解が必要であり、基本的な仕組みなど具体的に学び、看護の対象を支えている社会保障制度の概観をつかむことを目的とする	よくわかる社会保障	1	15
		関係法規	保健師助産師看護師法 医療法規ほか	朽木 悦子 [実] 高橋 育美 [実]	①保健師(2名とも)、看護師(2名とも)、精神保健福祉士(高橋のみ) ②看護職を取り巻く行政法・社会法の分野は、国民のニーズの変化に伴い、日々変化してきており、「看護」の現場を取り巻く医療法規の解釈は、看護業務の適切な履行、事故防止、また事故への対処において重要な要素である。 本授業では、保健師助産師看護師法を中心に、医療法、保健衛生法規、労働関係法規の概要を学び、看護職を取り巻く法的背景を理解する	系統看護学講座 看護関係法令 私たちのよりどころ保健師助産師看護師法 図説 国民衛生の動向	1	15
専門分野Ⅰ	基礎看護学 実習地	看護学概論Ⅱ	看護理論 看護研究	高岡 操 [実] ※6	①看護師、専任教員 ② 1) 看護理論の変遷を学び、看護理論家を通じて看護の本質とは何かを考える姿勢を身につける 2) 看護研究の基礎的知識を学び、看護実践を通して研究的視点を広がる	系統看護学講座 基礎看護学1 看護学概論 看護理論 看護理論20の理解と実践への応用 系統看護学講座 別巻 看護研究	1	15
		基礎看護学実習Ⅱ					2	90

[南大阪看護専門学校 2020年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
成人看護学		成人看護学方法論Ⅰ	急性・重症看護	高田 紳吾 [実] ※10 樋口 雄之助 [実]	①看護師(2名とも、樋口は救急認定看護師)、専任教員(高田のみ) ② 1)急性・重症看護をもとに、生命の危機状況への支援、合併症の予防、回復への援助について学ぶ 2).疾患によって起こる患者の症状や、治療に必要な看護について学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 呼吸器 循環器 系統看護学講座 成人看護学総論 ゴードン看護診断マニュアル	1	30
		成人看護学方法論Ⅱ	周手術期看護	東浦 龍至 [実] ※11	①看護師、専任教員 ② 1)手術を受ける患者・家族に対する生命維持、苦痛の緩和、早期回復に向けた看護について学ぶ 2)手術による身体侵襲とボディメージの変化を理解し、手術後の機能障害に対する援助や手術後の継続的な自己管理に対する援助を学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 消化器 系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 ゴードン看護診断マニュアル	1	30
		成人看護学方法論Ⅲ	セルフケア セルフコントロール	高田 紳吾 [実] ※10	①看護師、専任教員 ② 1)慢性疾患など生涯にわたりコントロールを必要とする対象及び家族の特徴を知りその状況に応じた看護の役割と方法を学ぶ 2)疾患によって起こる患者の症状や、治療に必要な看護について学ぶ	系統看護学講座 成人看護学総論 系統看護学講座 成人看護学 消化器 内分泌 腎泌尿器 ゴードン看護診断マニュアル	1	30
		成人看護学方法論Ⅳ	リハビリテーション看護	山内 雅子 [実] ※7 村上 巖 [実] ※12	①看護師(2名とも、村上は皮膚・排泄ケア認定看護師) ② 1)回復期における患者の身体的、心理的、社会的な側面について学ぶ 2)疾患によって起こる患者の症状や、治療に必要な看護について学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 脳神経 腎・泌尿器 女性生殖器 眼	1	30
		成人看護学方法論Ⅴ	がん看護 緩和ケア	東浦 龍至 [実] ※11 神崎 美和 [実]	①看護師(2名とも、神崎はがん専門看護師/がん性疼痛認定看護師)、専任教員(東浦のみ) ② 1)がん患者の全人的苦痛を理解し、治療に応じた看護の方法と症状が及ぼす苦痛に対しての看護について学ぶ 2)疾患によって起こる患者の症状や、治療に必要な看護について学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 血液・造血器 アレルギー 皮膚 ナーシンググラフィカ 成人看護学 緩和ケア	1	30
老年看護学		老年看護学概論	老年看護の概念・特徴	徳田 千代乃 [実] ※13	①看護師、専任教員 ② 1)高齢者を取り巻く社会の動向を理解する 2)高齢社会における保健医療福祉制度や施策を理解する 3)加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解する 4)多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護について理解する	系統看護学講座 老年看護学 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術	1	30
		老年看護学方法論Ⅰ	老年人特有の障害・症状への看護	前岡 富士子 [実] 山内 恵美 [実]	①看護師(2名とも)、介護支援専門員(山内のみ) ②さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護について学ぶ 1)高齢者に特有な健康障害を理解する 2)健康障害に応じた援助方法を理解する 3)高齢者を看護する留意点について理解を深める	系統看護学講座 老年看護学 老年看護 系統看護学講座 老年看護学 老年看護 病態・疾患論 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術	1	30

[南大阪看護専門学校 2020年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
専門分野 II		老年看護学方法論Ⅱ	自立生活への看護	徳田 千代乃 [実] ※13	①看護師、専任教員 ②さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護について学ぶ 1) 高齢者の日常生活を支える看護について理解する 2) さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護を理解する	系統看護学講座 老年看護学 老年看護 系統看護学講座 老年看護学 老年看護 病態・疾患論 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術	1	30
		老年看護学方法論Ⅲ	看護過程・看護技術	徳田 千代乃 [実] ※13	①看護師、専任教員 ②紙上事例を基にさまざまな健康状態にある高齢者の看護過程を展開し、受療状況に応じた看護について理解を深める	系統看護学講座 老年看護学 老年看護 系統看護学講座 老年看護学 老年看護 病態・疾患論 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術	1	15
	小児看護学	小児看護学概論	小児看護の特徴 小児保健	上田 智恵美 [実] ※14	①看護師、専任教員 ② 1) 小児看護の意義・役割・機能が理解できる 2) 子ども観の歴史の変遷・小児看護の変遷を知ることが出来る 3) 小児期の特徴と各期の成長・発達について理解できる 4) 小児保健の動向と保健対策の概要を知り、看護の役割と機能について学ぶ	新体系看護学全書 小児看護学概論 小児保健 国民衛生の動向 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術	1	30
		小児看護学方法論Ⅰ	疾患の理解	藤岡 弘季 [実]	①医師 ②小児の発達と発育を軸とした小児疾患の病態を理解する	新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害を持つ小児の看護	1	30
		小児看護学方法論Ⅱ	小児看護の方法	徳田 薫 [実] ※8	①看護師、専任教員 ② 1) 病気や入院による子どもとその家族に及ぼす影響と看護について理解することができる 2) 小児の疾患について、小児の特徴を踏まえて理解し、それぞれの状態に応じた看護が展開できる 3) 子どもに起こりやすい症状について、それぞれの状態に応じた看護援助の方法を考えることができる 4) 医療安全の観点から小児の発達課題に伴うリスクについて考えることができる	新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害を持つ小児の看護 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術	1	30
		小児看護学方法論Ⅲ	看護過程	徳田 薫 [実] ※8	①看護師、専任教員 ②小児期にある健康障害を持つ対象を理解し、それぞれの状態に応じた看護が展開できる能力を身につける 1) 疾患・治療が及ぼす影響を最小限にし、成長・発達を促す援助を考えることができる 2) 患児及び家族への生活指導に対して、計画的・実践的な援助を考えることができる	新体系看護学全書 小児看護学概論 小児保健 健康障害を持つ小児の看護 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術	1	15
		母性看護学概論	母性看護の概念・特徴・母性保健	井手窪 澄子 [実] ※9	①助産師、看護師、専任教員 ② 1) リプロダクティブ・ヘルス/ライツを基本に母性看護の対象の特性を理解しあらゆる健康レベルに応じた看護が実践できる基礎知識を習得する 2) 母性看護の概念・倫理および母性看護の意義とその役割について理解すると共に女性のライフサイクル各期における健康課題及びその看護の役割を学ぶ	系統看護学講座 母性看護学① 母性看護学概論 系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 国民衛生の動向	1	30
		母性看護学方法論Ⅰ	母性・周産期各期の理解	福田 洋 [実]	①医師 ② 1) マタニティサイクル(妊娠、分娩、産褥、新生児期)の正常及び異常経過について理解する 2) ライフサイクル各期(思春期、成熟期、更年期・老年期)の健康と健康障害について理解する	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論	1	30

[南大阪看護専門学校 2020年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間	
看護学	母性看護学	母性看護学方法論Ⅱ	周産期看護	井手窪 澄子 [実] ※9	①助産師、看護師、専任教員 ② 1) マタニティサイクル(妊娠・分娩・産褥および新生児期)の特性について理解する 2) マタニティサイクル(妊娠・分娩・産褥および新生児期)にある母子とその家族が健康的な生活を送るために必要な看護を理解する 3) 授業を通して自己の母性観を発展させることができる	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 根拠と事故防止から見た母性看護技術	1	30	
		母性看護学方法論Ⅲ	看護過程	井手窪 澄子 [実] ※9	①助産師、看護師、専任教員 ② 1) 母性看護に必要な基礎的技術を学ぶ 2) 既習の妊婦、産婦、褥婦および新生児の正常経過を理解し、母子とその家族に対して必要な看護が展開できる基礎的能力を養う	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 根拠と事故防止から見た母性看護技術 マタニティ診断ガイドブック	1	15	
	精神看護学	精神看護学概論	精神看護の概念・特徴 精神保健	増田 明 [実] ※15	①看護師 ②この健康とは何か、こころが病むとはどういうことなのか、これらを学習することで広く人間を理解することを探求する。さらに、精神看護領域における基本的援助技術及び看護場面における介入の裏付けとなる対人関係論について学習する。また、精神保健福祉制度の歴史の変遷及び関連法規についての理解を深め、最近の動向を踏まえて看護のあり方を探求し、実践能力の向上を図る	系統看護講座 精神看護学 精神看護の基礎	1	30	
		精神看護学方法論Ⅰ	精神疾患の理解	岩瀬 緯子 [実]	①医師 ②精神科の医療機関のみならず、幅広い分野で知識を生かせるように習得していく。まず、基盤となる人権について、その歴史を学び理解を深める。そして、すべての疾患の看護に共通する精神の働きを知ると共に、各精神疾患について、その特徴と幅広い知識を学ぶ	系統看護講座 精神看護学 精神看護の基礎	1	30	
		精神看護学方法論Ⅱ	精神看護援助	増田 明 [実] ※15	①看護師 ②精神看護の対象の特性を理解し、こころの健康を維持するため援助と、精神障害者及び家族への援助に必要な基礎的知識を学び、社会資源を活用した地域生活を支えるシステムを探究する	系統看護講座 精神看護学 精神看護の展開	1	30	
		精神看護学方法論Ⅲ	精神看護過程	増田 明 [実] ※15	①看護師 ②個々の事例を通して、精神看護に必要な自己洞察について学び、こころの問題に直面している対象に必要な看護が展開できる能力を身につける	系統看護講座 精神看護学 精神看護の基礎 系統看護講座 精神看護学 精神看護の展開	1	15	
	実臨習地	成人看護学実習						6	270
		老年看護学実習Ⅰ						2	90

[南大阪看護専門学校 2020年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
統合分野	在宅看護論	在宅看護概論	在宅看護の概念 地域保健医療福祉の連携	太田 和江 [実] ※16	①看護師、元専任教員 ②在宅看護のイメージ化をはかり、地域における看護師像を描くことができる 1)在宅看護が必要とされる背景と在宅看護の概念が説明できる 2)在宅看護の対象、活動の場、看護活動の特徴が説明できる 3)在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源についてわかる 4)地域での看護師はどうあるべきかを自己の意見として述べるることができる	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術	1	30
		在宅看護方法論Ⅰ	在宅看護の特徴と看護の実際	太田 和江 [実] ※16	①看護師、元専任教員 ②在宅において合理的かつ経済的な方法を用い、医療処置等家族への療養指導を踏まえた看護技術を提案するための基礎的な知識を習得する 1)在宅医療で用いられている機器や器具について理解することができる 2)看護技術を在宅で提供するときの考え方の基礎を身につける 3)事例に基づいた療養生活を支援する自助具について企画し、発表することができる	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術	1	30
		在宅看護方法論Ⅱ	在宅療養者の理解	太田 和江 [実] ※16	①看護師、元専任教員 ②在宅療養生活のQOLを高め、より長く維持、継続させていくための方策を学ぶ 1)訪問看護導入から終結までの流れが説明できる 2)在宅療養者の特徴に基づく在宅における看護が理解できる 3)様々な社会資源を用いながら療養支援を考えることができる 4)自己決定を支える支援を考えることができる	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術	1	30
		在宅看護方法論Ⅲ	看護過程	辻野 美嘉 [実] ※18	①看護師、専任教員 ②訪問看護過程の特徴を見出し、看護展開の基礎能力を身につける 1)在宅看護におけるアセスメントの方法と方向性を理解する 2)生活の視点で考えた支援計画が立案できる 3)在宅ケアのネットワーク構築の必要性が理解できる	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術 ゴードン看護診断マニュアル	1	15